【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【公開番号】特開2003-48316(P2003-48316A)
【公開日】平成15年2月18日(2003.2.18)
【出願番号】特願2001-239371(P2001-239371)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　2/01　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　29/48　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/12　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　3/04　１０１Ｚ
Ｂ４１Ｊ　29/48　Ｅ
Ｇ０６Ｆ　3/12　Ｍ

【手続補正書】
【提出日】平成22年4月7日(2010.4.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　印字情報を被記録材に記録する記録装置を制御する記録装置制御方法において、
前記記録装置が保持する被記録材に関する情報を取得する情報取得ステップと、
該情報取得ステップにより取得された前記被記録材に関する情報を前記記録装置の記憶手段に記憶する情報記憶ステップと、
外部装置からの要求に応じて、該情報記憶ステップにより記憶された情報を前記外部装置へ送信する送信ステップと
を備えることを特徴とする記録装置制御方法。
【請求項２】　前記送信ステップは、外部装置から受信される要求に応じて前記情報記憶ステップにより記憶された情報を外部装置へ送信することを特徴とする請求項１に記載の記録装置制御方法。
【請求項３】　前記情報記憶ステップは、前記被記録材を保持する収納部が前記記録装置内に挿入された際に、前記情報取得ステップにより取得された前記被記録材に関する情報を前記記録装置の記憶手段に記憶することを特徴とする請求項１に記載の記録装置制御方法。
【請求項４】　前記情報取得ステップは、被記録材を記録装置の記録部に対して供給した後であって、次に供給される被記録材を前記記録部に供給する前に、当該次に供給される前記被記録材に関する情報を取得し、
前記情報記録ステップにより記録された既に前記記録部に供給された被記録材に関する情報と、前記取得された次に供給される前記被記録材に関する情報とが異なる場合には、ユーザに対して警告を発することを特徴とする請求項１から３のいずれか１つに記載の記録装置制御方法。
【請求項５】　前記情報取得ステップにおいて取得された被記録材に関する情報は、被記録材の種類に関する情報を含むことを特徴とする請求項１から４のいずれか１つに記載の記録装置制御方法。
【請求項６】　前記情報取得ステップにおいて取得された被記録材に関する情報は、

被記録材の大きさに関する情報を含むことを特徴とする請求項１から４のいずれか１つに記載の記録装置制御方法。

【請求項７】　印字情報を被記録材に記録する記録装置であって、

前記記録装置が保持する被記録材に関する情報を取得する情報取得手段と、

外部装置からの要求に応じて、前記情報取得手段により取得された前記被記録材に関する情報を前記外部装置へ送信する送信手段とを備えることを特徴とする記録装置。

【請求項８】　前記情報取得手段により取得された前記被記録材に関する情報を記憶する情報記憶手段を備え、

前記送信手段は、外部装置から受信した要求に応じて、前記情報記憶手段に記憶された前記被記録材に関する情報を送信することを特徴とする請求項７に記載の記録装置。

【請求項９】　前記情報取得手段は、被記録材を記録装置の記録部に対して供給した後であって、次に供給される被記録材を前記記録部に供給する前に、当該次に供給される前記被記録材に関する情報を取得し、

前記情報記録手段より記録された既に前記記録部に供給された被記録材に関する情報と、前記取得された次に供給される前記被記録材に関する情報とが異なる場合には、ユーザに対して警告を発することを特徴とする請求項８に記載の記録装置。

【請求項１０】　前記情報記憶手段は、前記被記録材を保持する収納部が前記記録装置内に挿入された際に、前記情報取得手段により取得された前記被記録材に関する情報を前記記録装置の記憶手段に記憶することを特徴とする請求項８又は９に記載の記録装置。

【請求項１１】　前記情報取得手段により取得された被記録材に関する情報は、被記録材の種類に関する情報を含むことを特徴とする請求項７から１０のいずれか１つに記載の記録装置。

【請求項１２】　前記情報取得手段により取得された被記録材に関する情報は、被記録材の大きさに関する情報を含むことを特徴とする請求項７から１０のいずれか１つに記載の記録装置。

【請求項１３】　前記記録装置は、インクをノズルより飛翔させて画像を形成する記録装置であることを特徴とする請求項７から１２のいずれか１つに記載の記録装置。

【請求項１４】　記録装置が保持する被記録材に関する情報を取得する情報取得手段と、前記情報取得手段により取得された前記被記録材に関する情報を送信する送信手段とを備えた前記記録装置に接続される情報処理装置であって、

前記送信手段によって送信される前記被記録材に関する情報に基づき、被記録材の種類を含む被記録材の設定画面を表示する表示手段を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項１５】　前記表示手段は、前記送信手段によって送信される前記被記録材に関する情報に基づき、被記録材の種類及び被記録材が格納されている場所を含む被記録材の設定画面を表示することを特徴とする請求項１４記載の情報処理装置。

【請求項１６】　記録装置が保持する被記録材に関する情報を取得する情報取得手段と、前記情報取得手段により取得された前記被記録材に関する情報を送信する送信手段とを備えた前記記録装置に接続される情報処理装置において実施される表示方法であって、

前記送信手段によって送信される前記被記録材に関する情報に基づき、被記録材の種類を含む被記録材の設定画面を表示する表示ステップを有することを特徴とする表示方法。

【請求項１７】　前記表示ステップは、前記送信手段によって送信される前記被記録材に関する情報に基づき、被記録材の種類及び被記録材が格納されている場所を含む被記録材の設定画面を表示することを特徴とする請求項１６記載の表示方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１４】

【課題を解決するための手段】

本発明に係る記録装置制御方法は、印字情報を被記録材に記録する記録装置を制御する記録装置制御方法において、前記記録装置が保持する被記録材に関する情報を取得する情報取得ステップと、該情報取得ステップにより取得された前記被記録材に関する情報を前記記録装置の記憶手段に記憶する情報記憶ステップと、外部装置からの要求に応じて、該情報記憶ステップにより記憶された情報を前記外部装置へ送信する送信ステップとを備えることを特徴とする。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】削除
【補正の内容】